

山頭火と定型俳句 ～初期の創作活動を探る～ 展示品リスト

平成30年5月11日（金）～7月1日（日）

	作品名	作者	出版社	作成日	規格
1	【色紙】河東碧梧桐「夕立や夕顔棚の雫おつ 碧 印」	河東碧梧桐		明治32年7月	271×242
2	夏の蝶（「五句集」第四号） ※複写資料	弥生吟社	弥生吟社	大正1年11月	260×185
3	田螺公ほか句書付（病む児）及び採点表		棕鳥会	大正元年？	260×364
4	【短冊幅】荻原井泉水「一路輝き遠くより走りくる児あり」	荻原井泉水		大正3年4月	1508×306
5	【短冊】久保白船「無花果の葉がおちる障子洗つてゐる」	久保白船		昭和5年	
6	梅（「五句集」通巻十五号 第二月号） ※複写資料	棕鳥会	棕鳥会	大正2年2月	260×185
7	山頭火句書付（蟬五句）		棕鳥会	大正2年7月	260×364
8	『層雲』第四巻 第十一号	荻原藤吉（井泉水）	層雲社	大正4年2月1日	220×150
9	『層雲』第六巻 第二号		層雲社	大正5年5月1日	220×150
10	『層雲』第六巻 第十号		層雲社	大正6年1月1日	220×150
11	【短冊】種田山頭火「分け入っても分け入っても青い山」	種田山頭火		大正15年4月	364×61